

令和元年7月11日  
中部地方整備局

## 優秀な発表論文を表彰しました

○中部地方整備局管内事業研究発表会を令和元年7月4日(木)、5日(金)に開催、607名が参加し、7部門85題を発表しました。

○優秀な発表論文31題を表彰しました。

### 1. 概要

中部地方整備局では、個々のさらなる能力開発・勤務意欲の向上に寄与し、組織全体の活性化を図り、もって国土交通行政の効率的な執行を推進するため、管内事業研究発表会を毎年開催。

7部門85題の、発表論文を審査し、優秀な発表論文について表彰しました。

#### 令和元年度事業研究発表会部門一覧

部門	生産性 向上	新技術 活用	地域と の協働	安全 安心	活力	働き方 改革	ポスター セッション	合計
発表 論文数	9	8	18	10	10	19	11	85
表彰数	4	3	7	4	3	7	3	31

### 2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那市記者クラブ、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ、木曾合同庁舎記者室、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

### 3. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局

(名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館)

企画部 建設専門官 稲垣 良和, 教習係長 近藤 将明

TEL : 052-953-8131

# 令和元年度 中部地方整備局管内事業研究発表会

## 受賞者一覧

### ■生産性向上部門

賞	研究成果	所属	氏名
最優秀賞	由比地すべり対策事業におけるCIMの取り組みについて	富士砂防事務所地すべり対策課	小松 良行
優秀賞	御前崎港の防波堤改良工事におけるICT技術の導入と評価について	清水港湾事務所第二建設管理官室	鈴木 恒平
プレゼンテーション賞	河川管理瑕疵による損害賠償事故対応について	庄内川河川事務所占用調整課	岸野 綾果
若手奨励賞	既設丸山ダムの機能を生かした新丸山ダムの施工方法について	新丸山ダム工事事務所調査課	瀧川 豪

### ■新技術活用部門

賞	研究成果	所属	氏名
最優秀賞	既設CCTVカメラを活用した逆走・誤進入検知システムの開発	道路部交通対策課	鈴木 季弘
優秀賞	採石場跡地の不均質盛土におけるトンネル掘削の補助工法について	紀勢国道事務所工務課	廣中 洋輔
審査員特別賞	急傾斜地崩壊対策事業における現場に最適な仮設足場の採用	長野県伊那建設事務所整備課	岩崎 萌子

### ■地域との協働部門

賞	研究成果	所属	氏名
最優秀賞	維持管理費の削減と省人化を目指した除草作業の取り組み	紀勢国道事務所管理第二課	北端 大地
優秀賞	「100mm/h安心プラン」による治水事業の推進について	名古屋市緑政土木局 河川部河川計画課	松浦 直宏
優秀賞	未来につなげる浜松防潮堤～静岡方式の取組～	静岡県浜松土木事務所沿岸整備課	原崎 健輔
優秀賞	防災施設の近隣住民への理解普及に向けた取り組みーフラップゲート導入の工夫ー	四日市港湾事務所海岸課	中野 公貴
プレゼンテーション賞	名古屋三の丸地区の庁舎整備における地域との連携	営繕部調整課	松浦 賢太
審査員特別賞	伊賀市役所新庁舎移転に伴う名阪国道ICの渋滞回避に向けた取り組み	北勢国道事務所管理課	白井 隼斗
若手奨励賞	若手職員による国道1号谷稲葉ICゴミのポイ捨て対策について	静岡国道事務所管理第二課	石丸 佳吾

### ■安全安心部門

賞	研究成果	所属	氏名
最優秀賞	電磁ブレーキ付電動機固着時の復旧手順と作業訓練	(独)水資源機構霞ヶ浦揚水管理所機械担当	徳田 克也
優秀賞	庄内川の大規模浸水発生時における迅速かつ効率的な排水活動の支援ツール構築について	庄内川河川事務所調査課	白石 はつみ
プレゼンテーション賞	管内港湾の大規模災害を想定した初動対応訓練	港湾空港部港湾空港防災・危機管理課	松岡 峻也
審査員特別賞	本川水位低下がもたらす内水氾濫低減効果の検証ー平成30年7月豪雨を対象としてー	木曾川上流河川事務所調査課	玉置 康大

# 令和元年度 中部地方整備局管内事業研究発表会

## 受賞者一覧

### ■活力部門

賞	研究成果	所属	氏名
最優秀賞	道路機械設備の効率的なメンテナンスに向けて～新たな維持管理手法の提案～	名古屋国道事務所工務課	松尾 久美子
優秀賞	生活道路における交通安全対策の効果検証について	名古屋国道事務所交通対策課	渡邊 大記
若手奨励賞	持続性のある実践的多自然川づくりを目指して ～多自然カルテ・多自然チェックリストの策定～	中部技術事務所環境共生課	藤井 美有

### ■働き方改革部門

賞	研究成果	所属	氏名
最優秀賞	フレックス工期を活用した工事の円滑な施工 ～ 名2環 PC床版工事 ～	愛知国道事務所工務課	古田 智菜実
優秀賞	収用に伴う地権者の負担に対する補償の検討(その他通損の運用拡大)	用地部用地企画課	岡下 美紗貴
優秀賞	CCPMを活用した名阪国道での工事進捗管理について	北勢国道事務所管理課	大江 啓介
優秀賞	円滑に通行規制を行うには ～ 浜名バイパス強風規制を事例に～	浜松河川国道事務所浜松国道維持出張所	鈴木 美穂
プレゼンテーション賞	Web会議システムの導入による業務改善について	企画部情報通信技術課	和田 竜太郎
審査員特別賞	簡易な劣化診断による舗装の維持管理手法の報告	浜松市土木部南土木整備事務所	市川 哲也
若手奨励賞	ダム管理所組織の現状を踏まえた地震時点検の見直しについて	矢作ダム管理所	林 大世

### ■ポスターセッション部門

賞	研究成果	所属	氏名
最優秀賞	本格運用されたICT浚渫工(河川)における施工履歴データを用いた出来形管理について	庄内川河川事務所工務課	加藤 良太
優秀賞	～南海トラフ巨大地震発生後の早期復旧(排水)を目指して～排水計画実行支援システムの開発	中部技術事務所地震津波対策技術課	黒田 裕樹
優秀賞	一刻も早く被災情報を収集する ～防災ヘリの連携により情報収集を迅速化～	防災室	下田 貴之

# 令和元年度 中部地方整備局管内事業研究発表会 《 開催ダイジェスト 》

## ■開会式



長谷川中部地方整備局副局長  
(令和元年7月5日時点)

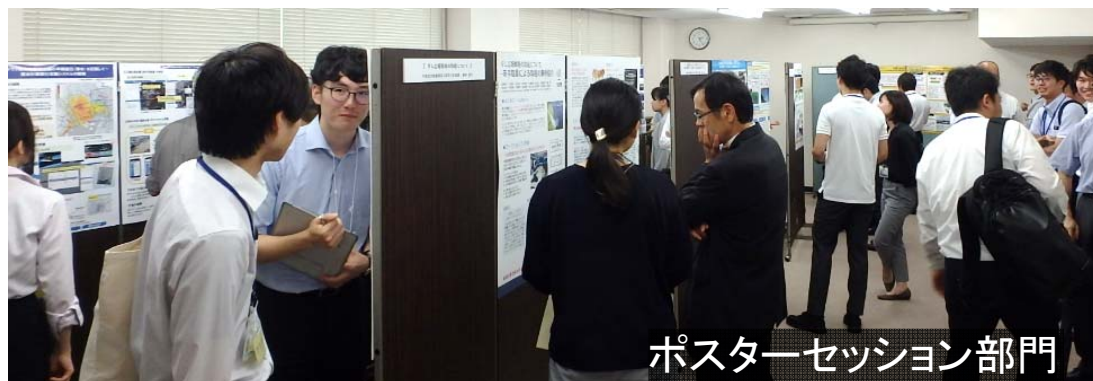
長谷川副局長より、

『事業研究発表会は、中部地方整備局発足の翌年(昭和24年)から毎年開催されている伝統ある発表会。この発表会で、様々な取り組みを共有し、技術力・専門力を磨き地域に貢献することが重要。発表者は気負うことなく発表し、聴講者もしっかり聞いて業務に活かして欲しい。』と挨拶されました。

## ■発表会

本年度、CPDS認定プログラムとして登録し、一般参加者は74名、中部地方整備局職員等を含み全体で607名の参加者がありました。

全85題の発表は、河川30、道路23、事務12、港湾8、電気・機械・営繕12から成り、各分野における生産性向上、メンテナンス、業務改善に関する発表が多く見られました。





## ■特別講演



『インフラ政策と中部の発展』  
をテーマに、京都大学大学院教授の藤  
井聡氏にご講演いただきました。

2012～2018に勤められました、内閣官  
房参与時代の経験を踏まえたご講演は、  
サテライト会場を含め約200席の聴講席  
が満席となり盛況でした。

藤井 聡 氏  
京都大学大学院工学研究科  
(都市社会工学)教授  
京都大学レジリエンス実践ユニット長



## ■表彰式

発表、論文を審査し、31題を表彰しました。【受賞者一覧参照】

受賞者一人一人に対し、長谷川副局長より表彰状が授与されました。

(令和元年7月5日時点)

